

工場稼働中の場合(対策編)

キーワード

土壤汚染対策法、土地活用と土壤汚染、工場稼働中、自主調査

知って得する

自主調査をして基準不適合土壤の存在が確認されたとき
(法第14条)



- ・自主的に調査し、基準不適合土壤の存在が確認されたときに届出を提出することができます。
(届出者は土地所有者等)

ワンポイント解説

自主調査で早めに土壤汚染を把握することのメリット

- ・計画的に土壤汚染対策に取り組むことで、対策方法の選択の幅が広がり、経済的にも合理的な対策を実践することができます。
- ・早めに対策することで、汚染の拡散を防止でき、対策する範囲も狭くなります。
- ・土壤汚染に関する情報を隠さずに公開していることを示すことができ、リスクコミュニケーションを行う際等に地域住民等からの信頼性向上が期待できます。
- ・土地の汚染状況等の情報が明確となり、将来の土地取引時に売主・買主間の不確定要素を排除できることが期待できます。
- ・法律に基づいた調査・措置を実施し、適正に土地の管理を行っていることを示すことができます